

令和元年 第3回定例道議会 9月24日 一般質問
～北海道議会 会議録より～

九. アイヌ政策について

質 問	答 弁
<p>(広田議員) 最後にアイヌ政策について伺います。 7月に環境生活常任委員会として、ウポポイの建設現場の視察を行いました。施設整備については、中央政府により進められているものと承知をしています。新しく作られるチセなどについても、建築基準法など関係法令を踏まえ、設置が検討されるとは承知しておりますが、アイヌの人々の昔ながらの生活に根ざした文化や、民族の尊厳などが適切に伝えられるのか疑問が残りました。 チセも含めたアイヌ文化の表現や伝承のあり方について、道はどのように考えるのか、見解をうかがいます。</p>	<p>(アイヌ政策監) アイヌ政策に関し、ウポポイにおけるアイヌ文化の体験などについてでございますが、道では、アイヌの人たちの生活や歴史などに関し、多くの方の理解を深めることがきわめて重要と認識しており、ウポポイの開設は、大きな契機になるものと考えてございます。 ウポポイでは、アイヌ文化への理解を深める体験型フィールドミュージアムとして、伝統的なコタンをイメージした施設整備が進められているところでございます。 アイヌの伝統的な家屋であります茅葺きのチセにつきましては、建築基準法や消防法の適用を受けますが、ウポポイにおきましては屋根不燃化区域の指定を解除するなどし、火気を使用するアイヌの伝統的な儀礼などにつきまして来場者に見学や参加いただくことが可能となっており、多くの方々にご来場いただき、自然と共生してきたアイヌの生活文化をはじめ、様々な魅力を体感いただきたいと思いますと考えております。</p>
<p>【指摘】 最後に、アイヌ政策について指摘をさせていただきます。 多くの方に来場いただき、アイヌの生活文化を体感していただきたいというご答弁でありました。100万人の入込の目標も掲げていることは承知していますが、そこで表現されるものは、はたして本物と言えるのでしょうか。謙虚に、その問いかけを自らにもし続けることが、中央政府にも、道にも、そして立法機関である私たち議会にも求められているのではないのでしょうか。 ウポポイは、アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律に基づいて設置をされました。この法の目的は、目的の条文中に、先住民族であるアイヌの人々としっかり記載をし、先住民族であるというその認識を国内外に示し、アイヌの人々が民族としての誇りを持って生活することができ、及びその誇りが尊重される社会の実現を目指すためであるとされております。 道においては、法の運用に困難があった場合においても、この法の目的の本旨に基づき、今後とも適切に対応されるよう指摘をいたします。</p>	